

Regular report

2024 vol.2

12月

Chiba  
University  
Formula  
Project

# 活動レポート

## 1. 製作開始 機械工学コース 2年 青木勝輝

12月上旬よりフレーム製作を開始しました。1年生に加えて私を含む2年生も去年フレーム製作にあまり関わっておらず、ほぼ未経験な状態でしたが、上級生の指導の下、日々多くを学んでおります。また、工程の中には使用可能時間が限られている工場での作業や、できる人間の限られている溶接といった作業があるため、メンバー間で役割を分担しながら効率化を図っております。フレーム以外でも既に設計が固まり、治具を製作し始めているパートもあるため、今後もシェイクダウン目標達成のため精進してまいります。

## 2. フレーム溶接 機械工学コース 1年 石田咲葵

12月の上旬からフレーム製作が本格的に始まりました。溶接は以前に何度も練習をしていましたが、フレームの溶接は初めてのことでしたので先輩方に教わりながら少しずつ進めていきました。フレームの溶接では治具板に固定された鉄パイプの溶接をする必要がありますので、パイプ自体を動かさず溶接しやすい体勢を試行錯誤しながら行いました。始めは私自身身長が低いこともあり先輩方と同じやり方では難しいこともありましたが、数を重ねていくうちに自分なりに溶接しやすい方法を見つけることができました。また、大きな穴をあけてしまったりブローホールがたくさんできてしまったりして先輩方に修正していただくことが何度もあり、自分の未熟さを痛感いたしました。今年が1年目ということもあり慣れないことも多々ありますが、今後もフレーム製作などを通して溶接の技術を磨いていきたいと存じます。



### 3. 旋盤を用いたフレーム製作 機械工学コース 1年 横溝乃羽

フレーム製作に伴い、工場の旋盤を使ってスペーサーの製作を行いました。夏休みに一度、旋盤の基本的な使い方は教えていただいたのですが、忘れていたことが多く1つを作るのにかなり時間がかかりました。数ミリずれたら使えなくなってしまうので、かなり緊張感がありました。切断部を平らにする端面出しを行ってから長さの調節を行っていくのですが、端面出しの段階で長さが短くなってしまっ使用できなくなることがありました。こういったことを防ぐためには、パイプをある程度の長さに切る際に、かなり余裕をもって切り出しを行う必要があるということ学びました。フレームのスペーサー製作は終わりましたが、工場で作るものはまだあるので1つ1つ丁寧に製作を行っていきたいと思いました。



#### 4. コスト審査勉強会 機械工学コース 3年生 堀田伊吹

1,2年生を対象としてコスト審査の勉強会を行いました。コスト審査は静的審査の総得点300点の内100点を占める重要な審査であるものの、弊チームは例年35~45点程の得点となっており、順位も10位近辺で停滞していました。そこで得点の伸び代は大いにあると考え、また近年は本格的なコスト審査対策が行えていなかった事から今回の勉強会を企画、実行しました。

勉強会を行うに当たって、まずレギュレーションの確認から始め、コスト審査で求められている知識、審査される内容を確認して、資料作成における目的と目標の設定を行いました。その後、審査資料を実際に作成して資料作成方法の講習を行いました。対象が1,2年生と言うこともあり資料作成に用いるCADソフトの操作方法やエクセルの操作方法から教えなければならず、想定していたよりも時間が掛かってしまうという事もありました。最終的には資料作成に必要な知識を教育できた他、個人の能力や経験に左右されがちなソフトウェア操作技術の確認と共有を行う事もでき、有益な勉強会となりました。



## 5. ドライバー練習 機械工学コース1年 伊藤克真

12月19日、八千代市のネオ・スピードパークにてドライバー練習を行いました。ほとんどが1年生だったこともあり、ドライビングの基礎を練習する良い機会となりました。路面状況、天気は良く、タイムを出すには絶好のコンディションであり、各々ベストタイムを更新することができました。しかし、ただタイムを縮めることに集中するのでは「良いドライバー」が育つとは言えません。コーナリング時に車がどのような挙動を示すのか、コーナー入り口、中間、出口で姿勢がどのように変わっていったか、路面、縁石のグリップの差がどのように変化するか、といったことをドライバーが感じられるようになって「良いドライバー」となるのであって、ネオ・スピードパークで速いから本番も速いではありません。これらのようなクルマとの「対話」ができるように、今後も練習に励んで参りたいと思います。

# CF24 Timeline vol.2

12月

12/7 ソリッドワークス・ジャパン株式会社様 ライセンス御提供

12/19 京葉バンド株式会社様 パイプ曲げ加工御支援



## SPONSOR

私達、千葉大学フォーミュラプロジェクトの活動は以下の企業、団体様よりご協力いただいております。このような貴重な勉強の場を与えて下さいましたことに、心よりお礼申し上げます。

### 企業・団体スポンサー様

※敬称略（五十音順）

旭化成建材株式会社	株式会社デンソー
アンシス・ジャパン株式会社	株式会社東日製作所
池田金属工業株式会社	株式会社トヨタレンタリース千葉
HPC システムズ株式会社	株式会社中村機材
エヌ・エム・ビー販売株式会社	株式会社ノウム
エムエスアイコンピュータージャパン株式会社	株式会社ハイレックスコーポレーション
学校法人 日栄学園 日本自動車大学校	株式会社橋本屋
株式会社 APJ	株式会社深井製作所
株式会社 IDAJ	株式会社富士精密
株式会社アネブル	株式会社プロト
株式会社石川インキ	株式会社ミスミグループ本社
株式会社エッチ・ケー・エス	株式会社ユタカ技研
株式会社エイチワン	株式会社レゾニック・ジャパン
株式会社江沼チエン製作所	株式会社ロブテックス
株式会社梶哲商店	株式会社ワークスベル
株式会社キノクニエンタープライズ	株式会社和光ケミカル
株式会社ケイズデザインラボ	協和工業株式会社
株式会社日下製作所	京葉ベンド株式会社
株式会社佐々木工業	ZAN 株式会社
株式会社玉津浦木型製作所	住友電装株式会社
株式会社ティン	ソリッドワークス・ジャパン株式会社

千葉大学工学部

千葉大学 工学同窓会

千葉大学材料加工学研究室

千葉トヨペット株式会社

日本軽金属株式会社

日信工業株式会社

日本精工株式会社 (NSK)

日本製紙クレシア株式会社

日本発条株式会社

日野自動車株式会社

マーレジャパン株式会社

マスワークス合同会社

まるたや

マレリ株式会社

ヤマハ発動機株式会社

合同会社葵不動産

有限会社斉藤プレス

有限会社プラスミュー

有限会社丸忠木型製作所

有限会社茂原ツインサーキット

## Special Thanks

千葉大学工学部実習工場

千葉大学工学部附属創造工学センター

Team TRS

ホンダマイスタークラブ

前澤友作スーパーカープロジェクト

レーシングガレージ ENOMOTO

## 個人スポンサー様

石塚 祐也      山岸 雅人

上野 涼      本宮 曜

江澤 成毅      米川 雄大

及川 智紀

岡田 和大

小川 和也

兼坂 洋祐

窪田 十也

戸塚 雅也

今後も定期的に私たちの活動の様子をお伝えして参ります。

CUFP 活動報告書 2024 年 vol.2  
千葉大学フォーミュラプロジェクト  
2024 年度プロジェクトマネージャー 鈴木達英  
Mail: 22t0622z@student.gs.chiba-u.jp  
URL : <https://chiba-formula.xrea.jp/>